



しんぶん赤旗 3/30 付より引用

## 火曜市宣伝 200回

高知市の日本共産党こうちまち後援会は27日、火曜市で200回目となる宣伝行動に取り組みました。2006年3月から当初は毎週、その後月2回のペースで宣伝しています。この日は8人が参加しました。

吉良富彦県議は森友をめぐる公文書の改ざん問題で佐川宣寿氏の証人喚問が実現したのは世論の力だと指摘し、「政治を動かす力は私たちにある。力を合わせて疑惑を究明しよう」と呼びかけ、安倍

高知市の党こうちまち後援会

内閣の総辞職を求めました。

はた愛市議が市政報告。県後援会の山本忠智会長（85）が農業問題を訴えました。

火曜市で野菜を販売している山崎菊子さん（82）は「共産党の演説はいつもよいことを言っている。共産党にしっかりと追及してもらいたい」と話しました。

岡村正弘会長（80）は「お店の人や買い物客とも顔見知りになり、多くの人に応援してくれます。『継続は力なり』を実感しています。これからも続けていきたい」と話しています。



中ラリン  
にやんでも通信

いぞ！  
高知の演劇  
シーンが熱  
拍手をよく  
りました。

## 無料法律・生活相談

- 4月10日(火)午後6時～8時
  - 場所：愛宕商店街 吉良事務所
  - 血田幸憲弁護士(よつば法律事務所)
- お問合せ：088-855-9439 お気軽にご相談を

会人であら一人出演、熱演に大きな

紙職人浜田さんが高校生に交じり社

を観劇。ノーベル  
を賞を受賞したアイキヤンの川崎  
共同運営委員を通して知り合った和

懐かしさ、そして強く生きる姿勢を  
見る ●同日、高校  
生の演劇「報われ  
ません勝つまでは」

●25日、日曜市での  
街宣終了後、東日本大  
震災後、放射性物質か  
ら子どもを守るため本  
山町に移住してきた佐藤恵さんの個  
展へ島崎やすおみ君と。学生時代か  
ら追究してきた彼女のモチーフ「棚  
田」が今なお生きる地との運命的な  
出会い。棚田の四季折々の風景画に

